

分野目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

技術・家庭科においては、知識及び技術を活用して生活における課題を解決する能力を育む観点から、衣食住やものづくりに関する様々な語彙の意味を実感を伴って理解する活動や、言葉・図表及び概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動を充実する。

家庭分野においては、調理、製作、幼児と触れ合う活動などの実習を行った後に、体験から感じ取ったことや気付いたことをまとめたり、その結果を整理し考察したり、共有したりするなどの学習活動を充実する。また、衣食住などに関する知識や概念などを用いて課題を解決する方法を考えたり、生活の中の様々な情報を言葉や図表等にまとめて分析し、根拠に基づいて説明したりするなどの学習活動を充実する。

献立表を用いて自分の考えを発表し合い、食生活の課題解決を図る事例

1 学年 第1学年

2 題材名 自分の食生活を改善しよう B(2)アイウ

3 題材の目標

自分の食生活に関心を持ち、中学生に必要な栄養や食品等について理解し、課題を持って日常の調理の計画を立てて実践することができる。

4 言語活動の充実の視点

視点1： 自分の食生活の課題を把握し、その解決策について、献立表を用いて自分の考えを説明する。

視点2： 昼食の調理計画を立て、家庭で実践したことをまとめて発表したりする活動を通して、自分の食生活を更に豊かにするための工夫を考える。

5 主な学習活動（全5時間）

段階	学習活動
第一次 (1)	・「食事バランスガイド」で自分の食生活チェックを行い、食生活の課題を把握する。
第二次 (2)	・中学生に必要な栄養を確認し、自分の課題を解決するために1日分の献立の工夫を考え、献立表に表す。 ・同じ課題傾向の生徒でグループを作り、作成した献立を発表し合う。相互評価を行い、献立を修正する。 視点1
第三次 (1)	・修正した献立の昼食の調理計画を立てる。 ＜家庭での実践＞
第四次 (1)	・献立の検討をしたグループで、昼食作りの実践発表会をする。相互評価を行い、気付いたことをまとめる。 視点2

家庭分野における言語活動

- 実習等の結果を整理し考察すると、いった学習活動を充実させることで、体験したことが客観性や科学性を伴う理解となり、思考の手だてとなります。
- 献立表や室内安全マップなどの図表や衣食住に関する概念を用いて考えたり、説明したりすることで、課題に対する思考力・判断力・表現力を育みます。

言語活動の充実のポイント

- 実践的・体験的な学習活動の前後の言語活動を工夫しましょう。
- 観察する観点を明確にして予想したり、感じ取ったことや結果について考察したりしたことなど、考えた過程が分かるレポートの記入欄を工夫しましょう。
- 問題解決的な学習の各学習過程で、言葉や図表、概念などを用いて自分の考えを説明したり、表現したり、話し合ったりする活動を充実させましょう。

評価の観点

- 課題に対して様々な角度から考える思考力、考えたことを基にして解決を図る判断力、判断した結果を的確に創造的に示すことのできる表現力を、「生活を工夫し創造する能力」で評価します。